

発行日	令和7年10月3日
発行元	災害対策課
所属長	清水 計秀
電話	06-6489-6165



防災対策情報便 令和7年度 vol. 2

01 台風や地震、災害時の情報はどこで得られるの？

去る令和7年7月30日(水)、カムチャツカ半島付近を震源とするM8.7の地震により、日本列島の太平洋側を中心に津波警報が発表されました。兵庫県瀬戸内海沿岸においても、津波注意報が発表されたため、尼崎市では末広町、鶴町、東海岸町の内、堤防より海側の地域に対して避難指示を発令しました。

幸い大きな被害が発生することはありませんでしたが、今後、発生が危惧されている南海トラフ巨大地震など、地震発生による津波被害の危険性があれば、すぐに避難をしなければなりません。

また、台風や大雨等も近年全国的に激しさを増しており、これらに対する警戒も重要となっています。平成30年の台風第21号では、尼崎市も被害に見舞われました。

これらの災害から身を守るためには、日ごろから正しい災害情報の取得方法を知り、迅速な避難のために備えを行うことが非常に重要です。

尼崎市防災ネット | 尼崎市の避難情報や地震、台風、河川の洪水等の災害情報をお届けします。

〈登録方法1 (アプリ版)〉

右の二次元コードを読み取り「ひょうご防災ネット」のアプリをダウンロードし、アプリから尼崎市を登録。

〈登録方法2 (登録制メール)〉

amagasaki@bosai.net 宛てに空メールを送信して登録。



Android



iPhone

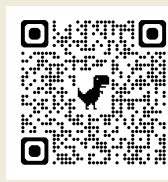
HP・SNS | 市のホームページ・LINE・X(旧Twitter)・Facebookで災害情報を確認できます。



市HP



LINE



X(旧Twitter)



Facebook

テレビ | 気象情報やテレビの「dボタン (データ放送)」で市内の災害情報を確認できます。

電話 | 災害情報電話サービス (050-5536-6953) に電話すると、避難情報など市から24時間以内の直近の災害等の放送内容を音声で確認することができます。
※電話料金は利用者の負担となります。



02 尼崎市防災総合訓練を実施しました！

南海トラフ巨大地震の発生する確率が高まる中で、市民等の生命・財産を守るために、防災業務に日頃から取り組んで行く必要があります。

職員の災害対応能力の「腕試し」として、尼崎市では毎年、年に1度の防災総合訓練を実施しています。今年の訓練は、約500人の職員と36団体の関係機関との合同で、令和7年8月29日（金）にWeb会議システム（Zoom）を使用して実施しました。

迅速かつ的確な災害対応の確立のため、職員の災害対応、実務の熟度向上、関係機関との連携強化を図ることを目的に、災害マネジメントシステムや防災情報伝達システムなどの各種システムを連携活用した災害対応や、各関係機関との協定による連携等を重点的に実施しました。

Zoom上で関係機関と連携した図上訓練は、初めての試みでしたが、訓練の目的を達成することができました。



関係機関との連絡連携



災害対策本部員会議の様子



各部における訓練状況

03 避難所の食事ってどんなもの！？

尼崎市が備蓄している食品にはどんなものがあるかご存じですか。

尼崎市の主な備蓄食品として、「アルファ化米」、「備蓄用ようかん」、「保存用ビスケット」があります。

兵庫県が試算する、南海トラフ地震発生時3.3万人の1日分を目安に12万食を備蓄しているほか、国や県の支援物資で対応しますが、支援物資の到着まで時間がかかる可能性があります。

そこで、皆さんにお願いしたいのが、家庭内備蓄です。身近なスーパーで購入可能なカップ麺やペットボトルの水などを少し多めに購入し、家庭内で備蓄します。

その後、賞味期限が近くなれば食べて、食べた分を買い足すことで継続的に家庭内備蓄を実現できます。これを「ローリングストック」といいます。皆さんもぜひ実践してみてください！



「災害時の食と栄養を知る研修会」（9月11日）においても、避難所での食事について、お話をさせていただきました。

主な尼崎市の備蓄食品



アルファ化米※1

※1「尾西食品株式会社」ホームページより



備蓄用ようかん※2

※2「井村屋ウェブショップ」より



保存用ビスケット



政府広報オンライン「今日からできる食品備蓄。ローリングストックの始め方」より

04 ハザードマップの各戸配布を行いました！

先日、各ご家庭にハザードマップの配布を行いました。今回のハザードマップは、表紙の「あまがさき防災ガイド」の啓発面を始めに、淀川水系の洪水ハザードマップ、武庫川水系の洪水ハザードマップ、津波ハザードマップ、高潮ハザードマップ、内水ハザードマップの6面がセットになっています。

前回からの主な変更点は次のとおりです。

- (1)各ハザードマップの避難場所などを最新の情報に更新し、各マップに対応した啓発情報をイラスト入りで分かりやすく掲載しました。
- (2)洪水ハザードマップを庄下川など中小河川を含めた想定最大規模降雨による内容に更新しました。
- (3)上記に伴い、洪水ハザードマップのタイトルを「武庫川」「猪名川・藻川」から「武庫川水系」「淀川水系」に変更しました。
- (4)内水ハザードマップを既往最大降雨（過去にその地域で観測された雨量の最大値）から**想定最大規模降雨の内容に更新しました。**
- (5)災害時の避難行動や情報の入手方法、家庭での備えなどの情報を集めた「あまがさき防災ガイド」をイラスト入りで分かりやすいように新たに掲載しました。

まずは、各ハザードマップでご自宅や職場の位置をご確認いただき、地図の色を参考に浸水深などを確認してください。

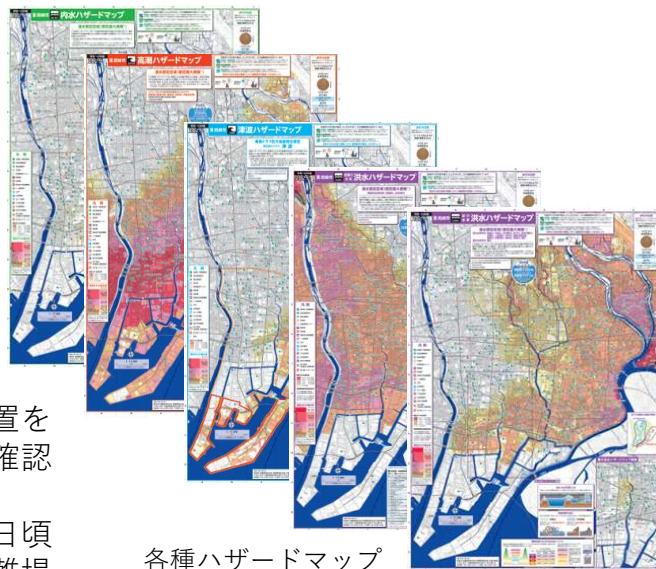
次に、たとえば津波・高潮・洪水等であれば、日頃からご自身の避難しやすいお近くの津波等一時避難場所を確認しておきましょう。

あまがさき防災ガイドは、避難や地震時の対応、情報の入手先、マイ避難カードの作り方、家庭内の備蓄など、大切な情報を盛りだくさん掲載しています。ぜひ、手に取ってご覧ください！

ハザードマップでご不明な点がございましたら、災害対策課へお気軽にお問い合わせください。



あまがさき防災ガイド



各種ハザードマップ

防災豆知識



重ねるハザードマップ（国土交通省）



二次元コード

重ねるハザードマップは、調べたい地点の自然災害リスクをまとめて調べることができます。また、洪水や土砂災害など個々の情報を重ね合わせた閲覧が可能です。

そこでオススメは、「重ねるハザードマップ」です！

右上の二次元コードをスマートフォンなどで読み取っていただくか、「重ねるハザードマップ」のキーワードでインターネット検索していただくと、国土地理院によるポータルサイトで閲覧することができます。



05 各種イベント等を実施しました

わが地区・わがまちDIG防災（7月27日）



ワークショップの様子

地域防災の要として指導的役割を担う消防団員の人材育成を目的として消防局主催による研修が実施され、災害対策課も参加しました。

「わが地区・わがまちDIG防災」と名付けられた研修の内容は、地区別に班編成された参加者が、それぞれの地区の大きな地図を囲み、意見交換や書き込みをしながら、地区内の災害対策について検討するワークショップです。

このワークショップでは、地区内にある消防団器具庫の位置や状況、マンホールトイレ、応急給水拠点などの防災資源を確認するほか、消防活動が困難な地域や、水害時の浸水想定区域など、災害リスクについても把握します。

実際の災害をイメージしながら、自分たちのまちの防災力を再発見する、非常に有意義な研修となりました。

災害ボランティアセンター設置運営訓練（9月27日）

尼崎市社会福祉協議会により災害発生時に設置される「災害ボランティアセンター」の設置運営訓練が立花西小学校で行われました。

災害ボランティアセンターは、市からの要請を受け、社会福祉協議会がボランティアの協力を得ながら、職員や地域住民、関係団体と力を合わせて運営していく拠点です。

被災者の困りごとを把握し、必要に応じたボランティアを調整するほか、活動に関する情報発信を行い、被災者の自立や生活再建につなげていく大切な役割を担います。

今回の訓練では、体育館に実際にセンターを設置し、①受付、②オリエンテーション、③マッチング、④送り出し・報告、⑤ボランティア活動と、実際の流れを踏まえて実施され、コロナ禍を経て、久しぶりに現地での設置運営訓練の実施となりました。

実際の運営の流れを確認する上で、イメージの共有が図ることができました。

災害対策課も参加し、防災クイズや非常持出袋を背負う体験コーナーを通じて、来場者に防災の大切さを伝えました。

いざという時に、迅速かつ適切に支援を届けられるよう、今後も関係機関と連携しながら取り組みを進めて参ります。



訓練の様子



ブース出展

あまトラフェス（9月28日）

「ゼロカーボンベースボールパーク」開業初年度のシーズンを締めくくる「あまトラフェス」に出展しました。

にぎわうスタジアムの隣で、災害対策課からは、「遊んで学ぼう！わたしの防災！」というテーマでブース出展を行いました。

